

令和6年度特科隊訓練検閲

～隊長要望事項～

「為すべき事を為せ」



▲陣地進入する火砲



▲旅団長による車両点検



▲隊容検査



▲防御陣地の構築



～旅団長メダル受賞者～



今野1曹(2中)



藤原3尉(2中)



坂野3曹(1中)



前田1曹(1中)



田代2曹(本管)



下館曹長(本管)

～旅団最先任上級曹長メダル受賞者～



吉川3曹(3中)



三上3曹(2中)



遠田2曹(1中)



山本土長(本管)



高野3曹(3中)



高木1曹(3中)

隊は、令和六年七月一日(月)から五日(金)までの間、北海道大演習場島松地区において、特科隊訓練検閲を受閲した。
本訓練検閲は、令和六年度第一次旅団演習において実施され、旅団の防御陣地における特科隊の行動について受閲し、じ後の訓練の資を得る目的で行われ、隊長要望事項である「為すべき事を為せ」の下、隊一丸となり、今までの訓練成果を如何なく発揮し、旅団火力戦闘部隊の骨幹としての任務を完遂した。

やまぶき



(発行所)
11特OB会

(連絡先)

札幌市南区
真駒内17番地

第11特科隊
広報援護室
TEL (011)-581-3191
内線 2645
(印刷)
メディアコーポレーション

主な記事

一面 令和六年度特科隊検閲
二面 令和六年度演習場春季定期整備等
三面 小樽市立北陵中学校部隊見学等
四角 昇任者・転出者・転入者・退官者の紹介

令和六年度演習場春季定期整備

隊は、令和六年五月七日(火)から五月十六日(木)までの間、北海道大演習場島松地区及び真駒内射場地区において、令和六年度演習場春季定期整備を実施した。

真駒内射場地区においては、射座・停弾堤の整備、草刈り等を行い、北海道大演習場島松地区においては、F A射場、二翁台地区の道路整備、弾着区域の不発弾搜索及び野焼き等を実施した。



▲旅団長による現地指導



▲不発弾搜索



▲野焼き

第十一旅団創立十六周年及び真駒内駐屯地開庁七十周年記念行事



▲特科隊入場行進



▲観閲行進

隊は、令和六年六月九日(日)真駒内駐屯地で行われた第十一旅団創立十六周年及び真駒内駐屯地開庁七十周年記念行事に参加した。記念式典及び観閲行進では、来賓の方々への威容を誇示し、迫力ある行進を行い、大いに観客を盛り上げた。

第一四五期陸曹候補生履修前教育総合訓練



▲攻撃目標に突撃する候補生



▲訓練終了後の記念撮影

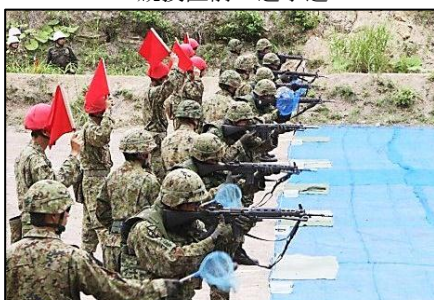
隊は令和六年六月十八日(火)北海道大演習場西岡地区において、第一四五期陸曹候補生履修前教育総合訓練を実施した。学生達は、隊長をはじめ、各部隊を見守るなか、これまでの訓練成果を遺憾なく発揮して迅速に敵陣地を攻撃し、見事に任務を完遂した。

旅団至近距離射撃競技会

隊は、令和六年七月二十三日(火)北海道大演習場有明地区戦闘射場において実施された、令和六年度旅団至近距離射撃競技会に参加した。各中隊は、計画的に各種状況における射撃を練成し、特科隊一丸となって本競技会に臨み、これまで練成した成果を遺憾なく発揮したが、結果は、隊の部において惜しくも優勝を逃した。



▲競技直前の選手達



▲競技会の様子



▲競技会を終えた選手達

小樽市立北陵中学校部隊見学

隊は、令和六年五月二十三(木)真駒内駐屯地において、札幌地方協力本部が実施する「小樽市立北陵中学校部隊見学」において装備品展示を行った。

▼特科隊の概要説明



▼火砲の概要説明



▼記念撮影



令和六年度航空機体験搭乗

隊は、令和六年六月二十二日(土)真駒内駐屯地において、令和六年度航空機体験搭乗を行った。
当日は、天候にも恵まれ、上空から札幌、小樽市内の街並みを眺望することができ、参加者達は大変満足した表情を浮かべ、自衛隊に対する理解と信頼を深める有意義な体験搭乗となった。



▲UH-1Jに乗り込む参加者



▲記念撮影

11 特OB会より 特科隊検閲に対する激励



▲OB会会長 森田氏より激励のお言葉を頂戴しました

やまぶき会より 特科隊検閲に対する激励



▲やまぶき会会長、大川氏より激励のお言葉を頂戴しました



▲やまぶき会の激励
(大川氏 平形氏 瀬野尾氏)



▲士気旺盛・気合十分



▲華麗な踊りを披露



▲威風堂々のねりこみ



▲潮ねりこみ後の記念撮影

第五十八回おたる潮まつり参加

隊(隊長 津田一佐)は、令和六年七月二十七日(土)、小樽市で行われた「第五十八回おたる潮まつり」の潮ねりこみに参加した。スタート直前には、ご指導をいただいた藤間扇玉先生をはじめとした、藤間一門の先生から、審査前の最後のご指導を頂くとともに、ねりこみの終始にわたり、自衛隊小樽協力会会長兼やまぶき会会長の大川氏をはじめ、自衛隊協力会、やまぶき会、特科隊OBの方々が現地に駆け付け、激励をいただいた。隊員達は、練習の成果を遺憾なく発揮し力強さとの息の合った踊りを披露し、昨年に引き続き、「審査員特別賞」を受賞した。

七月昇任者

准陸尉 本部管理中隊 白土 晶一

陸曹長 本部管理中隊 藪本 正雄

本部管理中隊 第三中隊 目黒 友也

一等陸曹 本部管理中隊 山田 直人

久貴谷 真一

妻島 巧弥

大和田 弥

竹山 裕子

第二中隊 菅沼 元啓

第一中隊 戸倉 雅史

第三中隊 齊藤 将太

三等陸曹 第一中隊 名畑 聖貴

同 齋藤 優真

昇任おめでとう
ございます。

益々のご活躍を
期待しています。

八月転出者

隊本部

二等陸尉 西尾 亮祐
第七特科連隊（東千歳）へ

本部管理中隊

陸曹長 川上 健

水陸機動団本部付隊（湯布院）へ

八月転入者

本部管理中隊

准陸尉 天満 和弘
東部方面特科連隊（北富士）より

三等陸曹 吉田 龍彰

第二特科連隊（旭川）より

第二中隊

一等陸尉 登り口 知弘
富士学校（富士）より

第三中隊

陸曹長 阿部 勝彦
自衛隊体育学校（真駒内）より

ようこそ十一特科隊へ
よろしく

お願いします。

定年退官者



藤原 1 佐
(6. 5. 2 3 付)

長年の勤務

お疲れ様でした。

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いします。

手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 藪本

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。この期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人がご逝去された場合は、死亡日を含め五日以内に最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四五) 担当 米田